



東 陵



福岡県立嘉穂東高等学校同窓会報

第17号

発行/平成26年10月
飯塚市立岩1730の5
嘉穂東高等学校同窓会

同窓会公式ホームページが完成いたしました

同窓会本部ではかねてから作成中でした、「同窓会公式ホームページ」が7月1日に完成しアップしています。

これまで当番生や他支部のホームページ、そして本校のホームページで同窓会の活動が発信されてまいりましたが、ようやく専用のサイトで情報発信ができるようになりました。

同窓会組織がどんな活動をしているのかを若い世代の方に発信するうえでも、ホームページの役割は重要になってきます。加えて、福岡の地を離れられて母校を懐かしむ方のためにもさらに充実した内容に更新してまいります。

同窓生の皆様からの情報をお待ちしております。詳しくは11ページの本部だよりをご覧ください。

●同窓会公式ホームページアドレスは <http://kahohigashi-doso.net> です。





ごあいさつ

同窓会会長 日高武邦

秋冷の候、同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝の内にお過ごしのことと拝察いたします。同窓会会報「東陵」第17号を発行するにあたりごあいさつ申し上げます。

今年は台風18号による広島の土石流災害、9月27日の御嶽山(標高3,067m)の突然の噴火、そして台風19号と続いております。皆様如何でしたでしょうか。心からお見舞い申し上げます。

今年に入って2月28日264名の新会員の同窓会入会式、翌3月1日には第66回卒業証書授与式、4月8日(本校創立記念日)には240名の新入生を迎えることができました。

そして4月5日(土)「嘉女・嘉穂東INくまもと」の会が熊本市のアークホテルで、4月19日(土)第5回関西支部総会が大阪市中央区天満橋の大阪キャッスルホテルで、5月31日(土)第36回東京支部総会が東京霞ヶ関ビル内東海大学校友会館で(役員改選)、6月28日(土)第21回福岡支部総会が福岡市中央区天神の西日本新聞会館国際ホールで(役員改選)、夫々盛大に開催されました。今後の益々のご発展をご祈念申し上げます。

さて、予めから会長辞任をお願いして居りました本部での役員改選についてであります。平成25年度第2回理事会(平成26年2月14日開催)で役員選考委員会が設置され、3月11日に第1回役員選考委員会開催後4回にわたり慎重にご議論、ご討議いただき、6月30日石井太賀良委員長から会長宛に答申がなされ平成25年度第3回理事会(平成26年8月20日開催)でその案が決議されました。新体制のもと同窓会の活動運営が着実になされることを願って居ります。6期12年間大変お世話になりました。心から厚くお礼申し上げます。有難うございました。

ここで、平成14年会長就任以来12年間を私なりに簡単に振り返ってみたいと思います。

平成13年4月定年で帰郷し、1年後平成14年5月同期(高校6回生)から同窓会会長の要請がありました。(これは山口県で海部、長谷部、森原各君とゴルフに行った夕食時にその話があり翌日朝食時に受

諾)。これには本校創立100周年記念事業という大きな目標がありました。現実に平成22年10月30日福岡県立嘉穂東高等学校創立100周年記念式典を福岡県知事麻生渡様、創立者伊藤伝右衛門翁の孫、伊藤伝之助様、曾孫伊藤譲二様を迎え挙行、記念事業として創立者伊藤伝右衛門翁の胸像の建立と前漢鏡を中央に配した新正門の造成で何れも母校に寄贈致しました。これは、全国の同窓生の皆様の温かいご理解とご支援の賜物であります。心から厚くお礼申し上げます。

次に福岡県立嘉穂東高等学校(全日制)同窓会規約改正についてであります。

- 1)平成17年10月30日改正、支部の項新設
- 2)平成24年8月18日改正、新しい理念のもと組織改革と財政基盤の確立について専門部会(総務部、財務部、企画広報部)の新設と部長は役員とすること、理事は卒業各回期から1名とすること、会計として新たに会員会費の納付について
- 3)平成26年10月25日改正 総則(目的)第2条の2として追加補則

本会は会員の学術、文化及びスポーツ振興等の社会活動を支援することを目的とする。ただし、宗教及び政治活動には関与しないものとする。

最後に同窓会の会員の皆様にお願いがございませぬ。近日中に皆様の手元に趣意書(会員会費の徴収のお願い)をお届けいたします。何卒温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

母校では富田博之校長先生をはじめ、諸先生方のご指導の下に「進路第1目標の実現」を目指し、日々邁進を重ねているとのことでございます。母校の益々のご発展を心から切にご祈念申し上げます。

今年度の嘉穂高等女学校・嘉穂東高等学校同窓会総会「東魂」の会が10月25日(土)[のがみプレジデントホテル]において開催されます。当番生は高校43回生(平成3年卒業)でございます。ご苦勞様です。期待して居ります。同窓生の皆様との「再会」を願って私の挨拶といたします。



ごあいさつ

校長 富田博之

同窓会会報「東陵」第17号の発行にあたり、ご挨拶申し上げます。

同窓会の皆様におかれましては、日頃より母校発展のためにご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。特に昨年度は、部活動活性化のためにサッカー部のフリーキック練習機を、また英語教育の充実の一環として英語科教室常設のICT機器（パソコン・スクリーン・プロジェクター等）を寄贈していただきました。日々の練習、授業の中で十分に活用させていただき、着々と成果を上げているところです。

さて、本年度上半期の話題は、何と言っても「花子とアン」。NHKの朝の連続ドラマによって、本校創設者である伊藤傳右衛門氏の人柄が全国に知られ、多くのファンを得たことは、学校にとっても大いに誇りとするところです。テレビや新聞による取材が続いた中で、去る9月29日には、同窓会役員の方のご尽力もあり、「ようこそ先輩 特別編」を実施いたしました。これは、「花子とアン」で筑豊言葉の指導に当たられるとともに自らも女優として出演された芳野友美さん（51回生）を招き、生徒たちに講演をしていただいたという行事です。生徒たちが大喜びであったことは芳野さんのブログでも明瞭ですが、ご自身も大歓迎の後輩たちからたくさんのエネルギーを貰ったと喜んでくださいました。

今回は特別編と銘を打ちましたが、「ようこそ先輩」は、各方面で活躍されておられる先輩方がお仕事の合間を縫って学校に来られ、ご自身の経験を熱く語ってくださる恒例行事として定着しています。また、例年、創立記念日には各界で業績を上げられた先輩から記念講演をしていただいておりますが、本年は声楽家の大屋省子先生にオペラや童謡を交えながら、音楽のみならず健康や幼児

教育に至るまで、先生の幅広いご活躍の様子を語っていただきました。女子生徒が音程の高さに苦心しながら練習し、記念式典で披露する「嘉穂高等女学校校歌」を大屋先生が美しくものびやかに歌われたことに、一同「さすが」と絶賛の声をあげたところです。

このような先輩方の経験に裏打ちされた堂々とした姿や困難を乗り越えてきた生の声は、生徒たちを強く励ますとともに、将来につながる可能性の種を蒔いてくださったものと心より感謝申し上げます。

学校としても、今年度の重点指導目標として、
（1）第一希望進路の実現 （2）明るく楽しいのびやかな校風の継承と発展 （3）国際理解教育の充実 の3つを掲げ、教育活動を推進しています。生徒諸君もそれによく応え、学業に、部活動に、学校行事に青春の汗を流し、それぞれのドラマを創り上げています。伊藤傳右衛門氏が残された「伊藤が寄付した学校がつまらぬものと言われたくない」という言葉を教職員、生徒一同が今一度心に刻み、諸先輩方が脈々と培ってこられた校風を継承、発展させていく所存です。

高校43回生の当番の皆さんのご尽力によって開催される同窓会総会「東魂」のご盛会を祈念するとともに、今後も母校発展のためにいっそうのご支援とご協力を賜ることを切にお願いいたします。ご挨拶とさせていただきます。



平成26年度 創立記念式典及び講演会

2014年5月9日（金）



創立記念式典は、年に1度、母校の長い歴史を振り返るひとつのきっかけとするために、毎年5月に開催されています。1910年創立の母校は今年で104周年を迎えます。

式典では、富田博之校長の式辞・同窓会の藤江文雄副会長の祝辞のあと、まず全校女子による嘉穂高等女学校の校歌、次に全校生徒による嘉穂東高校の校歌が歌われました。嘉穂高等女学校の校歌は美しく、素晴らしい校歌です。

続く講演会では、母校の30回卒業生である、声楽家の大屋省子さんにご講演いただきました。演題は、「芸術のススメ ～自己表現ということ～」です。

まずヘンデル作曲の「オン・ブラ・マイ・フ」、そして嘉穂高等女学校校歌、嘉穂東高校校歌と3曲を披露されました。美しい歌声に生徒は聴き入っていました。

講演では大屋さんの音楽歴の中から、高校から短期大学、さらに東京芸術大学と挑戦された経験をお話され、芸大へ何度も挑戦し合格をつかんだお話は、進路選択を控える生徒の心に訴えるものがあったのではないかと思います。

そして、声楽を通じた「自己表現」としてのさまざまな活動が紹介されました。飯塚市を拠点に「小さな子どものためのコンサート」や「子どものためのドラマスクール」などの開催、また、わらべ歌の研究活動や、柳原白蓮の和歌をもとにした声楽曲の創作コンクールなど幅広い活動をされています。こうした多彩な活動のひとつひとつに、大屋さんの歌にかける情熱と、わらべ歌や地方の歌唱文化の継承と発展にける思いが感じられました。

最後に、「ふるさと筑豊に思いをこめて」と、「ふるさと」を歌っていただきました。講演の合間にも歌を歌っていただき、温かい雰囲気での講演会となりました。

講演終了後は、生徒代表謝辞、花束贈呈、応援団からのエールを送りました。

大屋省子さんのますますのご活躍を、嘉穂東高校・同窓会一同、お祈りしております。



文化祭



平成26年6月6日(金)・7日(土)に文化祭が行われました。今年のテーマは「ALL STARS!!」。オープニングセレモニーでは、書道部の「ただ向上の一筋に 輝け 東の星 燦然」と力強い書と、一人ひとりの夢や思いを手形で表した木の絵が披露されました。その後、各会場で文化部が日頃からの練習の成果を発表するとともに、各学年がテーマをもとに、学年で趣向を凝らした舞台や展示を発表しました。1年生は合唱コンクール、2年生は教室展示、3年生はステージ発表です。1・2年英語科は英語劇「天使にラブソングを2」を上演しました。セリフもナレーションもすべて英語、素晴らしい演技でフィナーレの大合唱は大いに盛り上がりました。



体育祭



平成26年9月6日(土)に体育祭が行われました。今年のテーマは「ALL SPIRITS～魅せろ東魂～」です。天気予報は雨でしたが、雨の影響もなく予定通り実施できました。どの競技も生徒たちの全力の演技に、観衆からも大きな声援がグラウンド上に響きました。特に、赤、青、黄の3グループに分かれた応援合戦や男子タンブリング、2・3年生女子によるダンスはそれぞれのグループがこの日のために練習を重ねた成果が発揮され、大きな拍手を頂きました。更に、1年生女子が御神楽を披露。嘉穂東高校伝統の舞の素晴らしさを実感できたり、嘉穂東高校大団旗が翻る中で行われた全体応援は圧巻でした。



文化祭、体育祭ともに、全員で作りに上げた見応え十分の学校行事です。来年度以降も伝統を引き継ぎ、生徒たちも頑張っていきます。同窓生の皆さん今後ともご声援よろしくお願いたします。

母校の動き

(1) 教職員の異動

退職

矢野 弘文(芸術(書道))

転出

濱田 和雄(事務長) 福岡高等視覚特別支援学校へ
 真海 誠司(教頭) 筑紫丘高校教頭へ
 田中 寛子(理科(化学)) 田川高校へ
 加治 健男(保健体育) 稲築志耕館高校へ
 中村 健(国語) 嘉穂高校へ
 坂口 守人(数学) 鞍手高校へ
 本松 敬子(国語) 東鷹高校(定時制)へ
 伊藤 成美(主任実習助手) 城南高校へ

転入

佐藤 一孝(事務長) 田川科学技術高校より
 開田 徹(教頭) 鞍手高校(定時制)より
 萱嶋 俊児(保健体育) 玄界高校より
 野口 高志(数学) 嘉穂高校より
 佐藤 富美子(国語) 鞍手高校より
 山浦 冬子(国語) 新規採用
 原田 弘実(理科(化学)) 新規採用
 田中 誠士(保健体育) 新規採用

(2) 進路実績※合格者延べ人数

第66回生(平成26年3月卒業)

国公立大学 9名
 (北九州市立大学7名、福岡県立大学1名、大分大学1名)
 私立大学 292名
 (西南学院大学26名、福岡大学82名、同志社大学5名、
 立命館大学2名、関西大学2名他)
 短期大学 18名
 看護系専門学校 22名
 医療系専門学校 25名
 その他の専門学校 48名
 公務員 32名
 民間就職 15名

(3) 部活動実績(全国大会・九州大会)

H25.10月～H26.9月

※学年は、大会出場時の学年。

【水泳部】

★福岡県高等学校総合体育大会水泳競技選手権大会

(福岡県) H26.6.14～15

寺下 成行(2年) 100mバタフライ 第4位
 200mバタフライ 第4位
 植野 爽音(2年) 50m自由形 第1位
 100m自由形 第2位
 中川 莉沙(2年) 200m平泳ぎ 第8位

※以上3名、九州大会出場。



刊行物の案内



創立百周年記念誌
A4判 252頁

記念誌+記念DVDセット
頒布価格 4,000円(税込)

★ジャパンオープン 2014 日本代表選考会

(東京辰巳国際水泳場)

植野 爽音 (2年) 50mバタフライ
50m自由形
100m自由形 以上3種目出場

大野 掛人 (2年) 200m平泳ぎ
坂本 一真 (1年) 200m個人メドレー
男子 200mフリーメドレー

[坂本 一真 (1年)、寺下 成行 (2年)、
藻形 誠哉 (1年)、大野掛人 (2年)]

※以上九州大会出場。

★第 62 回全九州高等学校水泳競技大会

(佐賀県) H26.7.19 ~ 21

寺下 成行 (2年) 100mバタフライ 第4位
植野 爽音 (2年) 50m自由形 第3位
100m自由形 第4位

※植野 爽音は2種目インターハイ出場。

【放送部】

森本 愉依 (2年)
第 35 回九州放送コンテスト福岡大会出場。
(福岡県) H25.12.18 ~ 20

★福岡県高等学校選手権新人水泳競技大会

(福岡県) H26.9.20 ~ 21

植野 爽音 (2年) 50m自由形 第1位
100m自由形 第2位
中川 莉沙 (2年) 100m平泳ぎ 第5位
200m平泳ぎ 第3位
寺下 成行 (2年) 100mバタフライ



インターハイ

本校出場の植野爽音



ジャパンカップ

ジャパンカップに出場した本校出場の植野爽音と、
本校卒業生菅谷諭(62回)(法政大学2年)



九州放送コンテスト福岡大会

本校出場の森本愉依



創立百周年記念DVD



会員名簿
頒布価格 5,000円(税込)

※刊行物については卒業生対象のみ販売しています。ご購入のお問い合わせは嘉穂東高校同窓会事務局まで。



同窓会支部だより



関西支部総会・懇親会

開催日：平成26年4月19日
 開催場所：大阪キャッスルホテル 3階 錦城閣
<http://www.geocities.jp/kahohigasikansai/>

関西支部は今年で5回目の総会・懇親会となりました。今年は当番生が大多数出席いただき、懇親会を盛り上げて頂きました。昨年福岡支部は20周年の盛大なイベントを行われましたが、当関西支部も5年後には10周年記念行事をするため僅かながら積立を始めました。9月27日関西支部主催のハイキング“山の辺の道を歩こう”を行いました。コースは纏向石塚古墳→箸墓古墳→山の辺の道→大神（オオミワ）神社です。秋晴れの最高のハイキング日和でした。今後も、このような企画を増やしたいと思っています。



東京支部総会・懇親会

開催日：平成26年5月31日
 開催場所：霞ヶ関ビル35階 東海大学校友会館
<http://www.kahohigasi.com>

同窓会本部役員、富田校長、近年の本部当番幹事（41回～43回生）の方々、東京福岡県人会で繋がりの嘉穂高校・飯塚商業・山田高校・稲築高校・田川高校のOBご来賓などをお迎えし、約100名の同窓会となりました。今回の当番幹事（高校15回生）の活躍で、恩師・北崎公康先生（特別ゲスト）と再会し、懐かしい筑豊弁に触れ、青春に戻って校歌を歌う心地よい時間を過ごしました。そしてまた今回、中野・新支部長が誕生しました。同窓の意義を再発見できる新たな支部運営に今後取り組んでゆきます。



福岡支部総会・懇親会

開催日：平成26年6月28日
 開催場所：西日本新聞会館16階
<http://kahohigashi.sakura.ne.jp>

福岡支部は田代新支部長以下役員も若返り、先輩・後輩が入り混じっての総会・懇親会となりました。特に懇親会では、若手幹事等によるサプライズ的出し物『恋の季節』が大受けでした。最後に恒例の「博多どんたく総踊り」を、参加者全員でしゃもじを叩いて踊り、福博の町の伝統に浸りました。



同窓生だより

* 感暦記念同期会旅行

同期会副実行委員長：24回生 松岡美和子

一生に一度の記念すべきその日、昨年10月26日は、私達24回生にとりまして「還暦」を祝って頂ける待ちに待った「母校同窓会総会」の日でした。出来るだけたくさんの同期生と参加したいと思い、1年程前から実行委員会を立ち上げて、住所調べ・同期会旅行の計画・案内状の発送等々準備を進めました。当日は、同期生64名の参加を得て懇親会場のセンターテーブルを埋めることができ懐かしい顔は、みな笑顔 & 笑顔。



まさに「さいかい」同期生

「若い後輩から見れば60歳は高齢者だけど、年をとっても『人生はこんなに楽しい!!』事を後輩達に教えてあげられたら良いね。」そんな思いもあり、数年前に女性有志十数名でフラダンスチーム「フレンズ・フラ」を発足し、還暦祝いのステージで披露させて頂く事を目標に月1回の練習を重ねてきておりました。当番生の方々の御協力も有り、おかげ様でその目標も達成できました。



少し前なら、フラ・ガール

「フレンズ・フラ」に男性有志による「エア・ウクレレバンド」も加わり、同期生他多

くの方々の声援や野次?のおかげで不慣れなステージを笑顔でつとめる事が出来ました。

閉会后、「感暦記念同期会旅行」へとバス2台に乗り込みました。(旅行不参加組の為、飯塚での二次会も準備し、こちら迷?幹事の気合の入ったお世話で盛り上がった様子です。)夜からでも、また二日目だけでも参加しやすい様にと近場の日田温泉を選んだこともあり、38名の参加で、往きのバスから盛り上がりました。到着後、温泉で汗と昼の部のアルコールを流し、感暦同期会開始。初めにご逝去された同期生に黙祷し、挨拶・乾杯へと移り、大懇親会となりました。その後、筑後川面にゆらめく灯火を眺めながら秋の夜長は懐かしい思い出話で更けていきました。



日田温泉での大同期会

翌朝は、澄みきった秋晴れです。前夜の飲酒の上にも、朝食にビールを飲む人もいて、午前中観光のサッポロビール工場はしんどいかな?というそんな心配もよそに、試飲ホールはまたまた宴会状態となってしまいました。「日田山鉾会館」を見学し、「銀の鈴」のビュッフェ昼食も美味しく、つつい、たくさん食べてしまう程でした。午後は豆田景観地区を、そぞろ歩き+お土産物色+試食等...で天領日田の風情とゆったり流れる時を楽しみました。帰りのバスの中でも疲れ知らずで、最後まで盛り上がり別れを惜しみつつ、再会を約束して解散致しました。

本当に感謝・感動・感激の還暦二日間でした。これも、同窓会のお世話をして下さる役員の方々、当番生の方々、同期生のみんな、すべての方々のおかげだと感謝申し上げます。ありがとうございました。

月日	感暦記念同期会旅行 旅程表
10/26 (土)	母校同窓会総会・懇親会(総会: 12:00/懇親会: 13:00~)へ出席 集合: のがみプレジデントホテル ロビー/16:15頃(同窓会総会・懇親会 終了後) 飯塚出発=====日田温泉「山水館」/感暦記念 大同期会
10/27 (日)	(早朝散策) 朝のつどい====ホテル発====サッポロビール日田工場 視察・試飲====日田祇園山鉾会館==== 昼食「銀の鈴」====咸宜園 見学・豆田景観地区 散策 等====JR日田駅(県外・博多組とお別れ)====飯塚帰着・解散



ごあいさつ

2014年度 嘉穂高等女学校・嘉穂東高等学校同窓会総会
実行委員長 芳中^{まこと}充 (43回生)

通学路であった遠賀川沿いのコスモスも咲き始めたことに、秋の訪れを感じさせます。飯塚市の花であるコスモスは秋桜と書き、花言葉は「調和」「謙虚」「乙女の真心」です。

私達も同窓会の準備にあたり、調和を持って謙虚な気持ちで、そして真心を込めてやってきました。

思い起こせば合格発表の日まさか受かるとは思っていませんでした！僕は合格を目にしたあの感動や驚き、本当に忘れられません。

テーマ／横断幕－解説

「東魂（とうこん）」～元気ですか～？

伝統ある嘉穂東高等学校に通った者の胸の中には必ずある、共通の熱い魂。それを「東魂」と名付け、旧友と再会し「元気ですか？」と声を掛け合い、熱くなる。その魂を力強い文字と燃えるような「東魂レッド」で表現しています。

私達43回生は2014年度嘉穂高等女学校、嘉穂東高等学校同窓会総会の当番を承り、実行委員を立ち上げここまで活動して参りました。「元気ですか～？」を合言葉に同期一同熱い魂をふるわせて頑張ってきました。42回生の各先輩方には大変お世話になり、また大変ご迷惑をおかけしました。けれども先輩方はいつも温かく応援してくれました！

熊本会、関西支部、東京支部、福岡支部の皆様にはこんな騒がしい私達を温かくおもてなしいただき、本当にありがとうございました。活動中お会いできた先輩方からも的確な助言、お叱りの言葉、励ましの言葉たくさん頂きました。広告協賛金につきましても更に多くの企業支援者様からご協賛・ご寄付をいただき感謝の思いでいっぱいです。

この同窓会当番を承って沢山の旧友と再会でき、懐かしい思い出話をし、また初めて話をする友ができたことに本当に感謝しています。約一年三ヶ月長いようで短かったです。卒業して24年たった仲間達を集めてからの大同窓会！やはり大変でした。懇親会では私達43回生は一丸となって魂のおもてなしをいたします。

皆様には最高の思い出と沢山の土産ばなしを持って帰っていただけたらと、心より願っております！やはり、色んな目的がありそこへ集まった方々。僕はそこで沢山の事を学び、そして今日この日があると思います。そしてこの気持ちをこれからの後輩達へ少しでも何か繋げていけたらと改めて実感しているおもいでいっぱいです！

最後に本部役員の皆様、そして同期（43回生）の皆様へ心より感謝の気持ちを申し上げまして私の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。



2013年度当番、42回生坂本実行委員長とともに

同窓会役員紹介

本部役員

会長	日高武邦(高6)
副会長	武富弘行(高8)
〃	藤江文雄(高9)
〃	森昭(高17)
総務部長	近藤哲司(高31)
財務部長	永末英雄(高20)
企画広報部長	伊藤浩之(高32)
監事	花元國雄(高21)
〃	尾籠慎吾(高31)
事務局	上村浩朗(高35)

平成26年9月まで

福岡支部役員

支部長	田代勝(高15)
副支部長	太田克彦(高11)
〃	兒嶋佳苗(高18)
〃	岩佐守(高19)
幹事長	花岡清利(高19)
副幹事長	武谷政道(高21)
広報局長	山内真紀子(高19)
事務局長	岩佐守(高19)
会計	小川民夫(高20)
〃	入江裕章(高21)
会計監査	八尋弓夫(高校5)
〃	高嶋禎一(高校7)

東京支部役員

支部長	中野滋徳(高12)
副支部長(輻輳)	木之下喜久子(高15)
副支部長(渉外・会計)	伊藤房憲(高20)
事務局員(会計)	村山夕紀子(高20)
事務局員(HP担当)	松尾正好(高20)
会計監査	久保山清(高4)
〃	龍崎保之(高8)

関西支部役員

支部長	田中良一(高8)
副支部長	中野弘則(高9)
〃	安藤克史(高12)
事務局長	中村英(高11)
会計	伊藤日出雄(高21)
会計監査	荒牧建蔵(高15)

本部だより

年会費について

平成24年8月の臨時総会において規約改正が承認され、同窓会会員の皆様から年会費をご納入いただく事が決定しました。背景には、生徒数が減少することによる入会金・会費の収入減、慢性的な資金不足の解消、組織活性化のための財政の確立です。

同窓会のさらなる充実と母校の発展のため、年会費納入につきまして皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。尚、年会費の金額や払込方法については現在、財務部会を中心に検討中です。

ホームページのバナー広告募集について

公式ホームページの維持・管理費や同窓会運営財源の確保、同窓生相互のコミュニティ等を図ることを目的として、卒業生が在籍する企業・団体を対象に、バナー広告の掲載を承っております。掲載料は、年間10,000円(税込)と非常に安く設定いたしました。卒業生の皆様にはぜひ、ご検討くださいますようお願い申し上げます。

編集後記

同窓会報「東陵」は今回の第17号よりサイズをA4判に拡大し、文字も少し大きく、カラーページも設けました。年に1回の発行ということもあり、12ページの限られた紙面での情報掲載になります。

今年は同窓会公式ホームページが完成しましたので、そちらの方で最新のメッセージや多岐に亘る情報を発信してまいります。

卒業生の活躍や同期会の報告、恩師の近況など皆様からの様々な情報をお寄せください。お待ちしております。

企画広報部

ようこそ先輩!【特別編】

芳野 友美さん来校! ●平成26年9月29日(月)



本校の卒業生で女優の芳野友美さん(高校51回生・旧筑穂町出身)を招いて、「ようこそ先輩・特別編」が行われました。芳野友美さんはNHK朝の連続ドラマ「花子とアン」に出演し、このドラマの「筑豊ことば指導」として制作にも関わられていました。

吹奏楽部が「花子とアン」の主題歌「にじいろ」を演奏して迎え、講演会が始まりました。講演では「花子とアン」の出演者である吉田鋼太郎さんや、仲間由紀恵さんの裏話、業界用語のクイズ、現在と当時の校則の違いなどを話され、生徒からの質問コーナーでは、「目標とする女優さんは?」「タモリさんと会ったことがありますか?」など、率直な質問にフレンドリーに答えていただきました。

最後に、「嘉穂東高校があったからこそ、今の私があると思います。これからも頑張りますので是非応援してください」と結ばれました。

校歌の演奏をバックに、たくさんの握手を求められながら退場されました。

芳野さんはこれまで大河ドラマや映画にも多数出演され、特に「再現ドラマ」では年間100本以上出演されているとのこと。同窓生が全国区で活躍されているのはとても嬉しいことで、今後の活躍が期待されます。



●芳野友美さんのオフィシャルブログ <http://ameblo.jp/yumi-yoshino/>

ドラマで脚光! 旧伊藤伝右衛門邸、入館者記録更新!



「花子とアン」の効果で、飯塚市にある旧伊藤伝右衛門邸の9月の入館者は46,504人で、月間最多記録を更新しました。また、伝右衛門をモデルとした嘉納伝助が最後に登場した8月1日~14日は1万1473人に上り、前年の約20倍でした。飯塚市はドラマ終了後も12月2日まで 伝右衛門そして「花子と白蓮」 特別企画展などを続ける予定で、まだまだブームは続きそうです。

●旧伊藤伝右衛門邸ホームページ <http://www.city.iizuka.lg.jp/jiman/kanko/kanko/itoutei/>
<http://www.kankou-iizuka.jp/denemon/history/index.htm>